



ナミビア大学における日・ナミビア間の研究者交流

8月13～17日、ナミビア大学において、第22回先端錯体工学シンポジウム（SPACC）が開催されました。SPACCは、第1回が東京で行われ、以降、毎年世界各地で開催されていますが、今年、アフリカ大陸で初めての開催となりました。日本よりは、佐藤工学院大学学長をはじめとする研究者の方々、ナミビア大学よりは、アンガラ・ナミビア大学副学長他が参加した他、南ア、モーリシャスからも研究者が参加されました。シンポジウムの開会にあたり、当館より、坂本大使が出席し、日・アフリカ間の研究者交流を歓迎する挨拶をしました。